



いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。

●4～6月のおもな支援活動●

思いをつなげて! 広めて!

「復興支援 地産地消フェスタin 牧野林」に1万8千人!



沿岸からの27団体を含む72団体が出店。2日間で1万8千人が来場し、「買って、食べて、復興を支援しよう!」と大いに賑わいました(5/17・18)。



陸前高田市「椿のみち」の支援スタート

復興を願って設立された椿油製造工房「椿のみち」。椿油は、田老町漁協のわかめなどと一緒に「クオーネ化粧品」の原料にもなります。



第118回バスボランティアで、椿の苗20本を植樹(5/17)。今後、椿畑の手入れなどの支援を続けます。

「ふれあいサロン」のための“キット作り”

手芸材料などを揃える“キット作り”のボランティア。「沿岸まで出かけるのはむずかしいけど、これならできる!」と内陸で広がっています。



箸入れやティッシュケースなどの材料を揃えました(5/23滝沢ふるさと交流館にて)。

あなたも支援活動をしてみませんか?
お問い合わせは組合員活動チームへ
☎019-603-8299 (月～土曜 9～18時)

今年度の
東日本大震災支援募金
206万2,186円
(6月20日現在)
みなさんからの募金が支援活動を支えています。支援活動を継続するため、ぜひ募金にご協力ください。

今年度の「復興支援基金」活用状況 (6月20日現在)			
被災地でのふれあいサロン	185万9,616円	リフレッシュバスツアー-バス代	49万5,250円
グループ活動への補助	48万3,979円	その他	9万309円
バスボランティア	44万7,575円	計	337万6,729円

昨年度の募金額は1,160万円で、2,046万円を支援活動に活用しました。今年4月「コープアクション募金」2,299万円をいただき、今年度の支援活動費用のメドは立ちましたが、今後も何年間か支援活動を継続するために、引き続き募金へのご協力をお願いします。



いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。

忘れない 伝える 続ける つながる

「3行レシピ&専用ファイル」プレゼント!



「手軽に作れて助かるわ」と好評の「3行レシピ」。第4集が発行され、「つづっておけるように」とファイル作りの支援がスタート。コープこうべから250部、コープあおもりから140部などいわて生協分、合わせて約500部が寄せられ、移動店舗「にこちゃん号」利用者に配布しています。



食の支援「3行レシピ」は、昨年秋からこれまでに4冊発行。手作りファイルは、色も素材もさまざまです。

沿岸被災地の商品を利用し、復興を応援



9/6・7「カルチャーパークあてるい復興支援地産地消フェスタ」(奥州市)には、沿岸被災地からの22団体を含む72団体が出店。2日間で1万9千人が来場し、おいしさ笑顔が広がりました。

これからも、できることを続けたい



店舗では、毎月11日の「震災を忘れない日」を山場にし、沿岸被災地の商品供給や募金の呼びかけを強めています。

あなたも支援活動をしてみませんか?
お問い合わせは組合員活動チームへ
☎019-603-8299 (月~土曜 9~18時)

**今年度の
東日本大震災支援募金
348万6,215円**
(8月20日現在)
みなさんからの募金が支援活動を支えています。支援活動を継続するため、ぜひ募金にご協力ください。

今年度の「復興支援基金」活用状況 (6月20日現在)			
被災地でのふれあいサロン	414万1,973円	グループ活動への補助	74万3,162円
リフレッシュバスツアーバス代	97万8,410円	その他	9万309円
バスボランティア	74万7,495円	計	670万8,063円

昨年度の募金額は1,160万円で、支援活動の費用は2,046万円でした。全国の生協からも募金が寄せられましたが、今後も支援活動を継続するにはみなさんのご協力が必要です。店舗での募金のほか、共同購入OCR注文書でも募金ができますので、どうぞよろしくお願いします。



いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。

みんなの笑顔が見たいから

思いっきり体をうごかして、たのしかったよ！

「高田道場ダイヤモンド・キッズ・カレッジ」に協賛 (10月19日)



元総合格闘家の高田延彦さんが主宰する高田道場が、「震災後の子どもたちに、思いっきり身体を動かす機会を」と、宮古市で3度目の「ダイヤモンド・キッズ・カレッジ」を開催。いわて生協も協賛しました。



5歳から小学6年生までの子どもたち300人が思い切り体を動かし、楽しい時間を過ごしました。

山本正徳宮古市長(中央)と、高田延彦さん(元総合格闘家)・向井亜紀(タレント)さん夫妻。

宮古コープ復興応援まつり Part 4 (11月3日)

宮古市と沿岸広域振興局の後援のもと開催し、約1万人が来場。管内の8事業者を含む県内25団体が出店したほか、全国11生協から名産品の特別出店もあり、おおいに喜ばれました。



「コープかがわ」のみなさんの「あったか讃岐うどん」が大好評でした。

“被災者の生活再建”をすすめる署名

被災地の最大の願い「安心して暮らせる住まいを一日でも早く」を実現するため、「被災者生活再建支援制度」の拡充を求める署名に取り組んでいます。ぜひご協力ください。



今年度の
東日本大震災支援募金
636万4,582円
(3月21日～11月13日)

今年度の「復興支援基金」活用状況 (3月21日～11月21日)

被災地でのふれあいサロン	577万2,858円	被災地での自主企画	35万5,711円
リフレッシュバスツアーバス代	200万8,405円	子ども支援企画	21万6,000円
バスボランティア	129万4,703円	その他	10万8,255円
グループ活動補助	108万5,884円	計	1,084万1,816円

みなさんからの募金が支援活動を支えています。支援活動を継続するため、ぜひ募金にご協力ください。



いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。

思いをつなぎ、ともに未来へ!

仮設住宅 36 か所で「クリスマス・年末食事会」



みんなで食べると
おいしいね!

すき焼き、
おいしいね♥

すき焼きのほか、ならコープさんからの「三段おせち重」でお正月気分(12月30日大槌)。

大船渡・陸前高田・大槌の仮設住宅36か所で「クリスマス・年末食事会」を開催。いわて生協と関西3生協のボランティアのべ220人が1,000食を提供。みんなで作って食べました。



上手だね。
その調子!

たこ焼き、初めて作ったよ!

大阪の生協のみなさんと「たこ焼き」作り(12月24日大船渡)。

浅草・長國寺から“日本一の大熊手”



とり いち ちようこく じ
“酉の市”で知られる東京浅草・長國寺から「復興に役立てたい」と2011年から毎年宮古市の商業施設に寄贈されている大熊手。4回目となった昨年12月、マリンコープドラの正面入口に、宝船様式の大熊手が奉納されました。

手作りのクリスマスカードお届け



かわいいカード、
ありがとう!

「忘れないよ。いっしょにがんばろう!」の思いを込めて、いわて生協や全国6生協の組合員さんが作ったクリスマスカード。お菓子を添え、仮設住宅に住む組合員さんなど2,100人へ届けました。

今年度の
東日本大震災
支援募金
736万4,642円
(14年12月20日現在)

今年度の「復興支援基金」活用状況 (14年12月)	
被災地でのふれあいサロン	679万9,865円
リフレッシュツアーバス代	221万1,729円
バスボランティア	141万9,983円
グループ活動補助	118万4,100円
クリスマスカードお届け	42万3,134円
その他	72万9,643円
計	1,276万8,454円

みなさんの募金が支援活動を支えます。ぜひご協力をお願いします。